（第三種郵便物認可）　山梨日日新

建設会社が観

法

ム」を設立。同法人が忍野村忍草の観光農園「富士忍野ベリーランド」を運営している。

イチゴの苗を植えて、イチゴ狩りの準備をする社員　＝忍野村忍草

分、ブルーベリーは約230本を栽培している。3月から営業を開始。イチ

リチウムイオン蓄電池システム

直接仕入れで低価格化

甲府・シナプテック

シナプテックが販売を始めたリチウムイオン蓄電池

環境保全商品の販売を手掛ける「シナプテック」（甲府市大手1丁目、戸田達昭社長）は、家庭や事業所用のリチウムイオン蓄電池システムを発売した。同等の市販品より価格を2分の1程度に抑えた。

節電対策製品として、初年度は1千～2千台の販売を目指す。

同社によると、出力は1時間当たり2㌔で、電池容量は4㌔と8㌔の2種類を用意。家庭などのコンセントにつないで、4～5時間でフル充電となる。システム側には電化製品をつなぐコンセントが4カ所ある。容量4㌔のシステムで一般家庭（家族4人）の1日の電力使用量の「3分の1程度を賄える」という。

価格は電池容量4㌔が90万円、8㌔が180万円。1㌔当たりの単価は22万5千円で「業界最安値」という。メーカーからの直接仕入れで流通コストを削減し、従来品（1㌔当たり40万～80万円程度）を下回る価格を実現した。

家庭・事業所用「業界最安値」うたう

サイズは高さ57㌢、横幅91・3㌢、奥行き15・5㌢。重さは75㌔。同社が先行発売した鉛蓄電池システム（容量1㌔当たり15万円目安）に比べ、設置面積は4分の1で済み、重さも半分程度。電池の寿命は短くても10年で、鉛蓄電池の2倍以上という。

電池管理システムコンピューターを搭載。放電や充電の状態を適正に保つことができ、携帯電話による遠隔操作やタイマーを付けるなどの機能の拡張も可能という。

商品の開発製造はベンチャー企業のCNO（東京都台東区）が手掛け、シナプテックが販売窓口となっている。

問い合わせはシナプテック、電話055（220）3512。

イオン59店舗が山梨フ

東京、千葉、神奈川と県内　果実など特産品

県産果実をPRする横内正明知事（左から2
＝東京・イオン品川シーサ

イオンは15～18日、東京や千葉、神奈川、山梨の4都県の系列59店舗で、山梨県産農産物や加工品を集めた山梨フェアを初めて開いた。

イオンモール甲府昭和店のオープンに伴い、県とイオンが県の活性化を目的に交わした包括提携協定に基づき、イオンリテール南関東カンパニーが県の活性化を目的に交わした包括提携協定を締結。イオンは県産品の販路拡大に協力するとしている。

イオンモール甲府昭和店のオープンに伴い、県とイオンが県の活性化を目的に交わした包括提携協定に基づき、イオンリテール南関東カンパニーが県の活性化を目的に交わした包括提携協定を締結。イオンは県産品の販路拡大に協力するとしている。

県とイオンは2月、活性化に関する包括提携協定を締結。イオンは県産品の販路拡大に協力するとしている。

このうち、都内のイオン品川シーサイド店は特別催事店舗として、ワインや印伝など250点を販売。フェア最終日の18日には、横内正明知事や県農畜産物販売強化対策協議会（広瀬久信会長）のメンバーらが訪れ、買い物客にPRした。

横内知事は来場者を前に「今年は天候に恵まれ、桃の出来がいい」とPR。県産桃から放射性物質が検出されなかったことを説明し、安心安全をアピールした。

たコーナーを設け

経済短信

「えびす」元従業員再雇用へ

焼き肉チェーン店「焼肉酒家えびす」の集団食中毒事件で、解散、清算手続き中の運営会社フーズ・フォーラス（金沢市）が全20店舗を一括売却する「スタンドサービス」（福島県郡山市）は19日、解雇されたチェーン店の元従業員を再雇用し、早ければ8月1日から順次、営業を始める意向を示した。

フーズ社が19日に開いた元従業員向けの説明会の中で表明した。

中国で「讃岐」登録認めず

香川県の特産品である讃岐うどんを表す「讃岐烏冬（うどん）」の商標登録が中国で出願され、同県などが異議を申し立てていた問題で、同県は19日、中国商標局が異議を認め商標登録を行わない決定をしたと発表した。

県によると、決定書は5月25日付。中国商標局から現地の法律事務所が今月13日に受け取った。

讃岐うどんが広く知られた香川の特産品名だと認め、中国で商標登録されると「誤認を生じさせやすい」ことから出願を拒絶するとしている。

みずほがATM手数料返還

みずほ銀行は19日、3月に起こした大規模なシステム障害で現金自動預払機（ATM）が断続的に停止したことを受け、この間に

ATM手数料

た。顧客の口

る。

返還するのは

日のATM時間

行ATMやコン

利用手数料で、

05円か210

だ、返還する

製は明らかに

既婚までの全

県産果実で中国大使館

横内正明知事は19日、中国大使館を訪れ、中国大使に、中国

日大使に、中国

ブドウの輸出

う関係機関へ

請した。

横内知事は

「白鳳」を手

国が認めていた

の輸出の解禁

た。横内知事は